



「情報伝達・避難訓練」を実施

8月23日に上尾市総合防災訓練として「情報伝達・避難訓練」を実施しました。昨年8月の総合防災訓練から全面的に見直し、実践的な訓練内容としました。これまでに「荒川の水害を想定した訓練」、地震を想定した「災害対策本部設置運営訓練」を行い、今回はそれに続く「情報伝達・避難訓練」です。

市民の安全を守るために普段から訓練を重ね、防災体制の強化を図ることはとても大切なことです。現在の新型コロナウイルス感染状況を踏まえ、参加者を絞り、衛生面にも配慮しました。

「東京湾北部を震源としたマグニチュード7.3の地震が発生した」との想定のもと、主に、①災害対策本部における災害情報の収集・伝達訓練②「安否確認・一斉通報システム」を取り入れた職員安否確認訓練③避難所開設キットを使用した避難所開設訓練④IP無線、ドローンやスマートフォンによる本部との連携訓練⑤テントやパーティションを設置しコロナ禍での避難者受け入れ体制の検証⑥外国人避難者対応訓練⑦要配慮者の移送訓練⑧各指定避難所での資機材等の確認、などを実施しました。

デモンストレーションで行われたドローンやスマートフォンを使用する際の映像伝送では、リアルタイムで被災現場や避難所の様子を確認することができました。防災技術の進歩には目を見張るものがあります。

「普段から準備していなかったことは、災害時何一つ実施することはできなかった」。私の故郷、陸前高田市の職員の言葉が忘れられません。

令和3年2月には「災害対策本部設置運営訓練」を行う予定です。今後も不測の事態に備え、いざという時に最善の行動がとれるよう防災力向上に努めていきたいと思っております。



被災箇所を確認し対応を協議